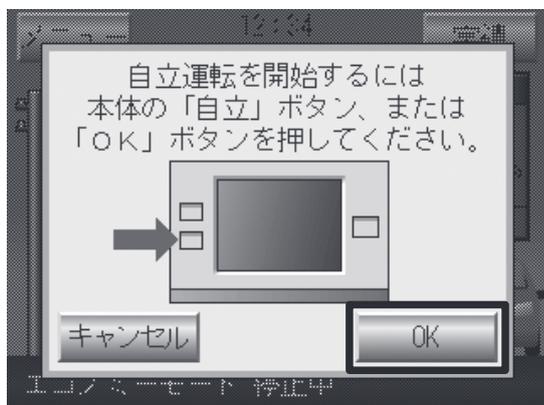


2. 自立運転をする

本システムは停電が発生した場合、EVの蓄電池を使用して住宅内の負荷に電力を供給する自立運転をすることができます。なお、自立運転は停電時だけでなく、システムが正常な場合においても、運転させることができますが、自立運転への切り替え時には、一時的（約10秒間）に宅内が停電しますので、ご注意ください。



〔1〕 自立運転を開始する

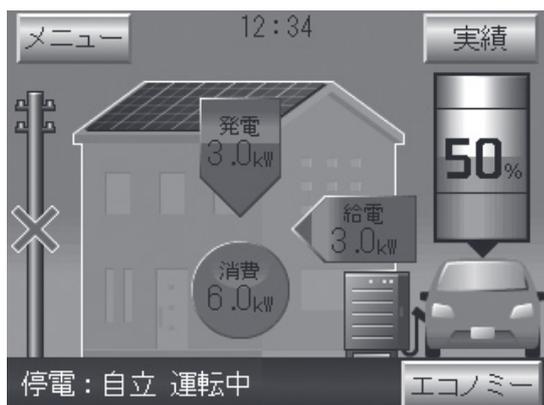
(1) 停電が発生した場合、リモコンの画面に『「自立運転」を開始しますか?』というポップアップ画面が表示され、ボタンランプ3箇所点滅、ブザー警告音が鳴ります。

※工場出荷時のブザー音量は「切」になっています。(P20参照)

※無操作状態で約5分経過すると、画面消灯し、ブザー警告音も停止しますので、その場合は、画面をタッチして再点灯させてください。

※HEMS操作中はリモコンでの運転ができません。特殊操作ボタンが「HEMS解除」と表示されているので、ボタンを押した後に自立運転操作をしてください。

停電時



(2) リモコン本体の「自立」ボタン、または、画面右下の「OKボタン」を押す。

ポップ画面が消え、ブザー警告音も停止します。

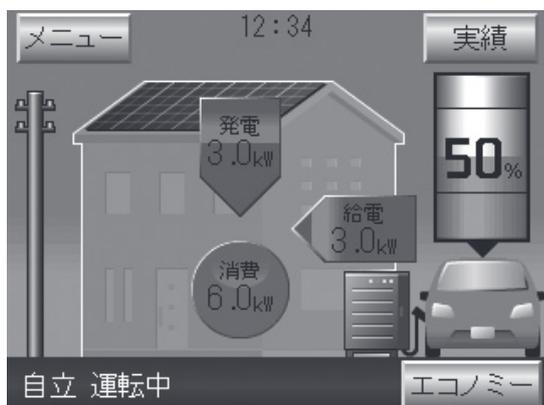
しばらく（約10秒）すると、EV用パワーコンディショナが起動し、住宅内負荷に電力が供給されます。

※宅内の照明が点灯することでEV用パワーコンディショナが自立運転していることが確認できます。

※商用系統停電時はリモコン画面の電柱に、停電を示す×印のアイコンが表示されます。また、リモコンには給電のアイコンが表示されます。

※画面左下が「停電：自立運転中」と表示されていることを確認してください。

系統正常時



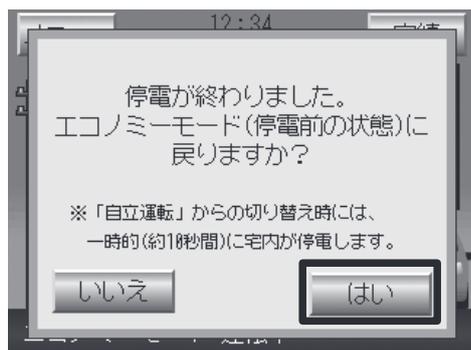
※システムが正常な場合は、リモコンの自立ボタンを押し、ポップアップ画面の「はい」を押すと自立運転を開始します。

メモ

- ・PVが接続されている場合は、PVからの発電電力も住宅内負荷に供給されます。PVの発電で余剰電力が発生した場合はEVに充電します。
- ・EVが接続されていない場合は、自立運転に移行できません。
- ・EVの蓄電池容量が少ないときは自立運転ができませんことがあります。

お願い

停電が発生してから自立運転に切替えるまでは、EV用パワーコンディショナに内蔵しているバッテリーによって制御回路が動作しています。長時間の停電が継続し、長時間、自立運転への切替え操作が行われない場合は、内蔵バッテリーの容量が減り、自立運転が行えなくなることがありますので、停電が発生してから自立運転への切替え操作はなるべく早く実施してください。



(2) 自立運転を停止する。 (停電前運転への切替え操作)

- (1) 自立運転中に復電した場合、停電が終わったことを示す復電のポップアップ画面がリモコンに表示され、ボタンランプ3箇所点滅、ブザー警告音が鳴ります。

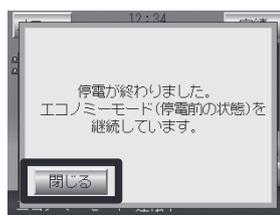
※工場出荷時のブザー音量は「切」になっています。(P20参照)

※無操作状態で約5分経過すると、画面消灯し、ブザー警告音も停止しますので、その場合は、画面をタッチして再点灯させてください。

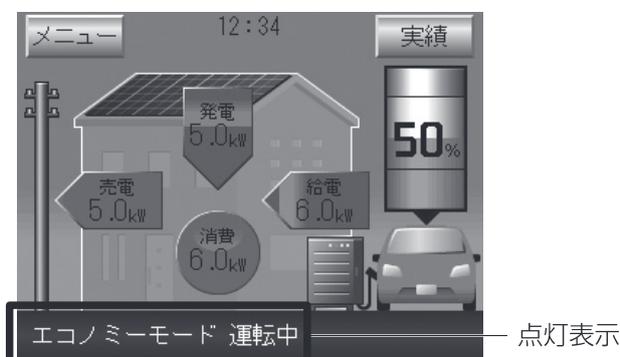
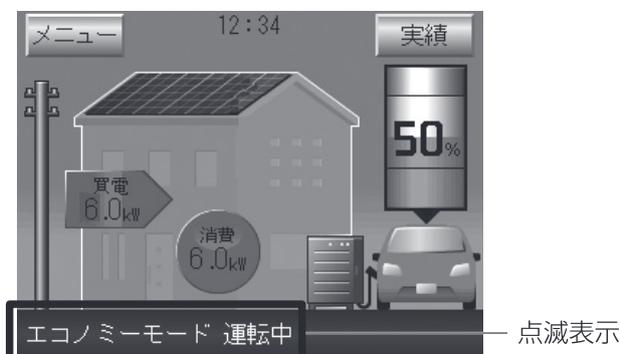
- (2) 画面右下の「はい」を押す。
ポップ画面が消え、ブザー警告音も停止します。

メモ

停電時に自立運転せずに運転停止中(停電)の状態、復電した場合は、替わりに下記ポップアップが表示されるので、「閉じる」ボタンを押してください。



※画面は、停電前の状態がエコノミーモードの場合の表示例です。
運転モード名は、停電前の運転モードが表示されます。



- (3) 自立運転していたEV用パワーコンディショナが一旦停止し、住宅内の照明が消灯します。約10秒後に商用系統が接続され、住宅内の照明が点灯します。(系統接続)

※このときEV用パワーコンディショナは運転準備中で、「エコノミーモード 運転中」の文字は点滅しています。

- (4) 系統接続後、しばらくすると、EV用パワーコンディショナが運転を開始し停電前の運転モードに復帰します。

※復電後、系統連系接続の規定により、EV用パワーコンディショナの運転は約5分程度待ってから再開されます。

お願い

停電前の状態にするためにポップアップ画面で「はい」をタッチするとEV用パワーコンディショナの自立運転出力が停止し住宅内の負荷への電力供給が約10秒停止します。

パソコン等を使用している時はパソコンを終了させてからリモコン画面の「はい」をタッチするよう注意願います。